

# コンバインの事故事例と対策 (1/2)

参考: 農作業安全「リスクカルテ」

## 点検整備中の事故

- ✓ 作業前後の詰まり除去を含む点検時は、必ずエンジンを切る。グリス注油はクラッチを切って行う。
- ✓ グリス注油はクラッチを切って行う。

《事故事例》  
清掃整備、エンジン停止  
(骨折、挫滅創)

コンバインのチェーンに給油するため、こぎ胴を開け、回転する藁搬送チェーンに右手で給油中、こぎ胴に左手の第2、3、4指が巻き込まれ、骨折、挫滅創。(平成23年10月上旬 8時半頃、男性63歳)



エンジンをかけたまま、こぎ胴を回転させたまま、右手に注油器を持って、藁搬送チェーンに注油。左手はこぎ胴の近くに置いていたが、注意が逸れ、こぎ胴に左手が巻き込まれ。左手第2~4指骨折・挫滅創。

(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV)p121より

《なぜ》コンバインを故障なく使うためには、作業前後の清掃・整備が欠かせませんが、手順を順守した作業が重要です。

117

## ほ場出入り中の事故

- ✓ 進入退出路をバックで走行させるときは、補助者による誘導や確認を行う。

《事故事例》  
後方確認

コンバインをほ場から農道にバックで上がろうとした時、乗り入れ口でコンバインが右側に横転。横転の前にコンバインより飛び降りて怪我はなかった。(平成25年9月 11時半頃、男性・61歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.III)p118より

《なぜ》コンバインは死角が多い機械であり、特に後方は、グレンタンクに邪魔されてほとんど確認できません。

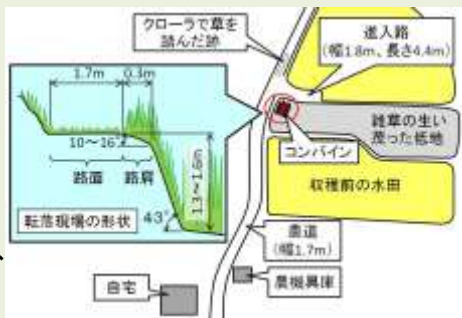
123

## 道路走行中の事故

- ✓ 慣れた道でも、草むら、狭い道、坂道などでは、降りて道幅や路肩状態を必ず確認する。

《事故事例》  
路肩、確認(死亡)

自脱コンバインでイネを収穫するため、雑草の生い茂る進入路から水田に入ろうとしたところ、進入路手前の段差で転落、圧死。(平成26年9月下旬 14時頃、男性・69歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV)p119より

《なぜ》慣れた道でも、草が生い茂り路肩が見えなかったり、降雨後で坂道が滑りやすい時など、日々状況は変化します。

119

## 詰まり除去中の事故

- ✓ 詰まったときは、必ずエンジンを切る。

《事故事例》  
詰まり除去、エンジン停止(指切創、骨折)

大豆コンバインで収穫中、ヘッダのレシプロ刃に大豆茎が詰まったため、機械を止めずに取り除こうとして、左手人差し指を切った。(平成24年10月 9時頃、男性・71歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.III)p112より

《なぜ》収穫作業は天候に左右されるため、詰まりや故障が発生したとき、気が急いで注意を怠りやすくなります。

127

# コンバインの事故事例と対策 (2/2)

参考: 農作業安全「リスクカルテ」

- ✓ コンバインを動かすときは、周囲に人がいないことを確認している。

## 《事故事例》

### 補助者、確認(骨折)

麦刈り中、コンバインに詰まった草を取っていた人がコンバイン運転席からは死角となり見えず、作業が終了したと思い、発進して轢いてしまった。肋骨骨折。  
(平成23年6月 14時頃、男性・72歳)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.III)p121より

《なぜ》コンバインには、運転席から多くの死角があるので、コンバインの特性を知った運転操作が必要です。

129

- ✓ 手こぎでは、手袋をしないか、手に密着したものを着用している。

## 《事故事例》

### 手袋、巻き込まれ(複雑骨折)

手こぎの最中に、右手がフィードチェーンに巻き込まれ、中指・薬指を複雑骨折。  
(平成12年頃の秋、ほ場、女性・60歳頃)



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.II)p82より

《なぜ》高速回転している脱穀部に稲わらを投入する手こぎは非常に危険です。

133

- ✓ 後退時は、後方を十分確認する。

## 《事故事例》

### 後退、後方確認(骨折、切創)

自脱コンバインで稲刈り中バックしていたところ、畦畔から転落し水路に落下。右足脛骨遠位端骨折、右足底骨群の骨折、こめかみの切創、5カ月入院。  
(平成24年9月下旬 10時頃、男性・75歳)



バックした時、畦畔の高さがわずか15~20cmであり、畦を乗り越えた感覚がなかった。そのまま、排水路にコンバインもるとも転落。

(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV)p116より

《なぜ》コンバインの足回りはクローラで不整地走行に優れ、水平制御機能が搭載されている機種も多いが、路面の状態が運転席で分かりにくくなっています。

130

## 手こぎ中の事故

## まとめ

事項	チェック内容	チェック	対策優先
点検整備	作業前後の詰まり除去を含む点検時は、必ずエンジンを切る。 グリス注油はクラッチを切って行う。		
道路走行	慣れた道路でも、草むら、狭い道、坂道などでは、降りて道幅や路肩状態を必ず確認する。		
ほ場の出入り	進入退出路は、コンバインの車幅に対して余裕がある。 進入退出路と取り付け道路に余裕がある。 危険を感じない程度に、進入退出路の傾斜は緩い。 ほ場の出入りの際は、進入退出路にコンバインを正対させる。		
詰まり除去	詰まったときは、必ずエンジンを切る。		
死角の確認	コンバインを動かすときは、周囲に人がいないことを確認している。		
バック	後退時は、後方を十分確認する。		
手こぎ	手こぎでは、手袋をしないか、手に密着したものを着用している。		

## 死角での事故

## バック中の事故